

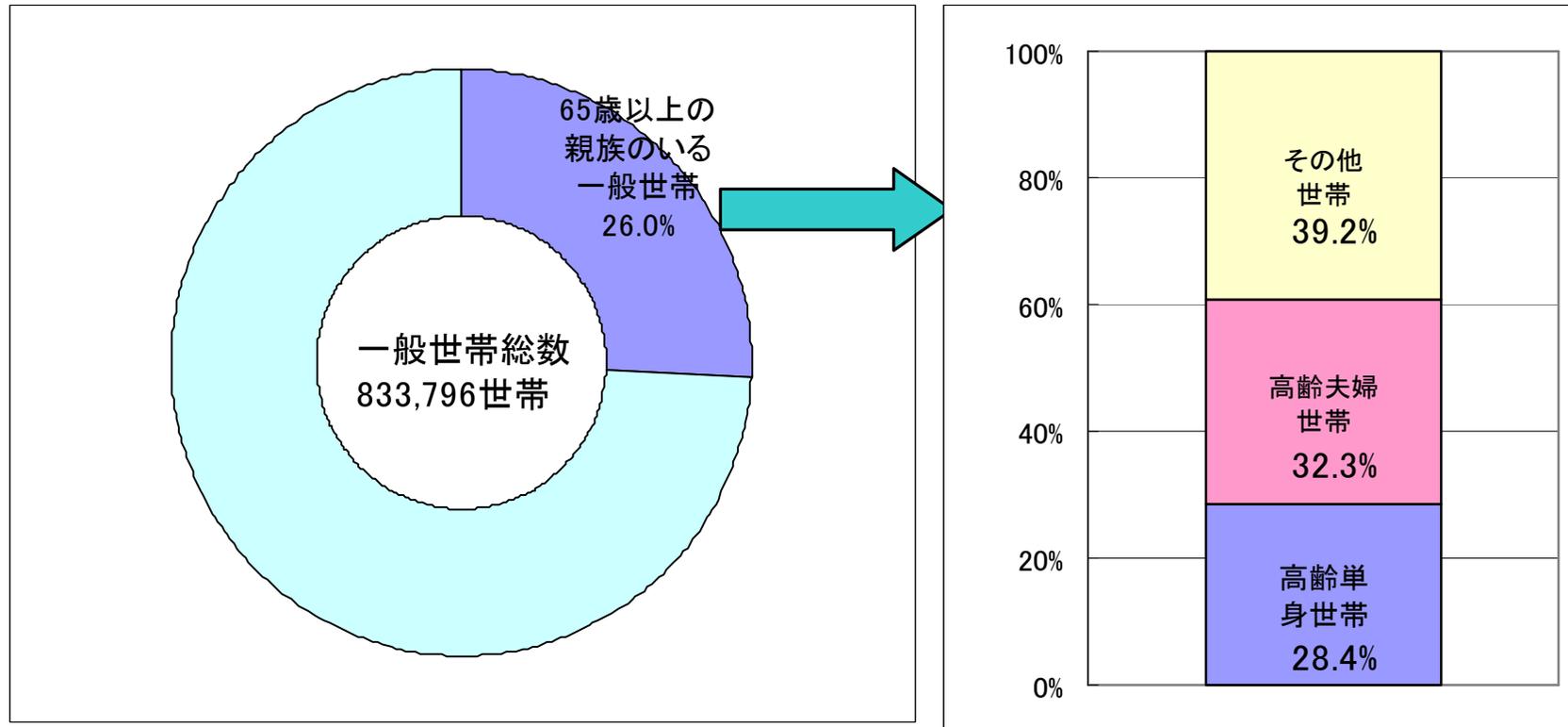
住宅確保要配慮者の現状

平成21年12月16日
札幌市住まいの協議会事務局

(1)住宅確保要配慮者の定義

各法律における住宅確保要配慮者の定義	
住生活基本法	低額所得者、被災者、高齢者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者
住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律	低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者
【参考】 公営住宅法の対象者	住宅に困窮する低額所得者
あんしん賃貸支援事業の対象者	高齢者、障害者、外国人、子育て世帯

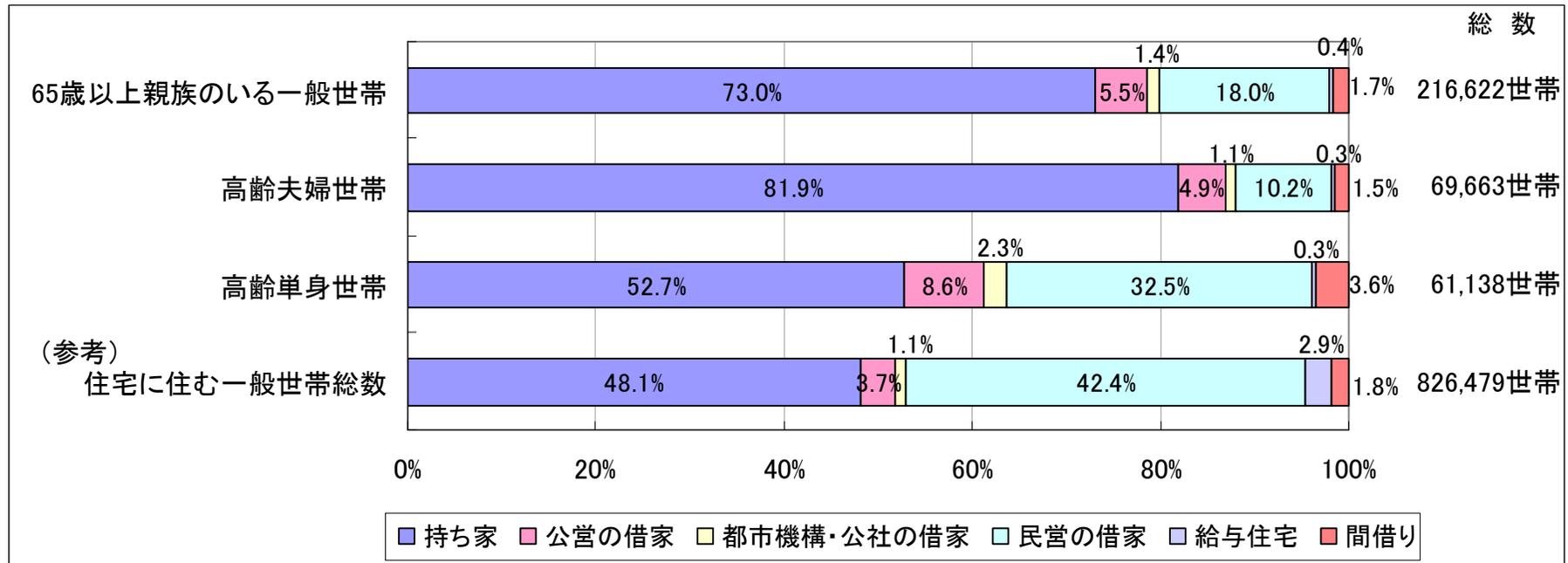
(2) 高齢者の世帯数



出典：平成17年国勢調査

- 札幌市の一般世帯数(833,796世帯)のうち、65歳以上の親族のいる世帯は216,507世帯(26.0%)となり、4世帯に1世帯が高齢者のいる世帯
- 65歳以上の親族のいる世帯の内訳をみると、「高齡単身世帯」が28.4%、「高齡夫婦世帯」が32.3%となっており、高齡単身世帯と高齡夫婦世帯で約6割を占める。

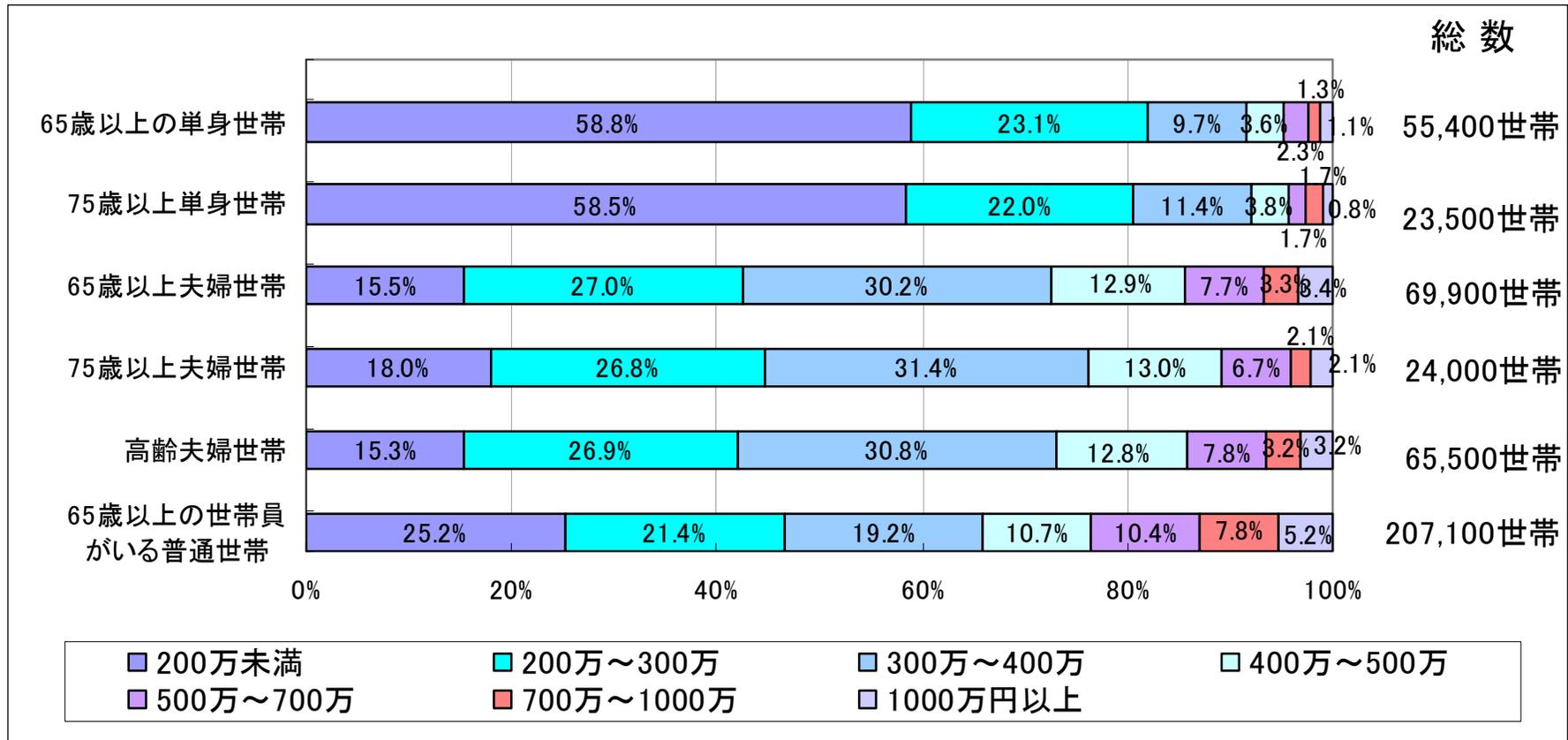
(3) 高齢者の住宅種別



出典:平成17年国勢調査

- 世帯種別に所有関係をみると、持ち家率が高いのは「高齢夫婦世帯」(81.9%)、「65歳以上親族のいる一般世帯」(73.0%)
- 民営の借家率は「高齢単身世帯」(32.5%、19,884世帯)で高い

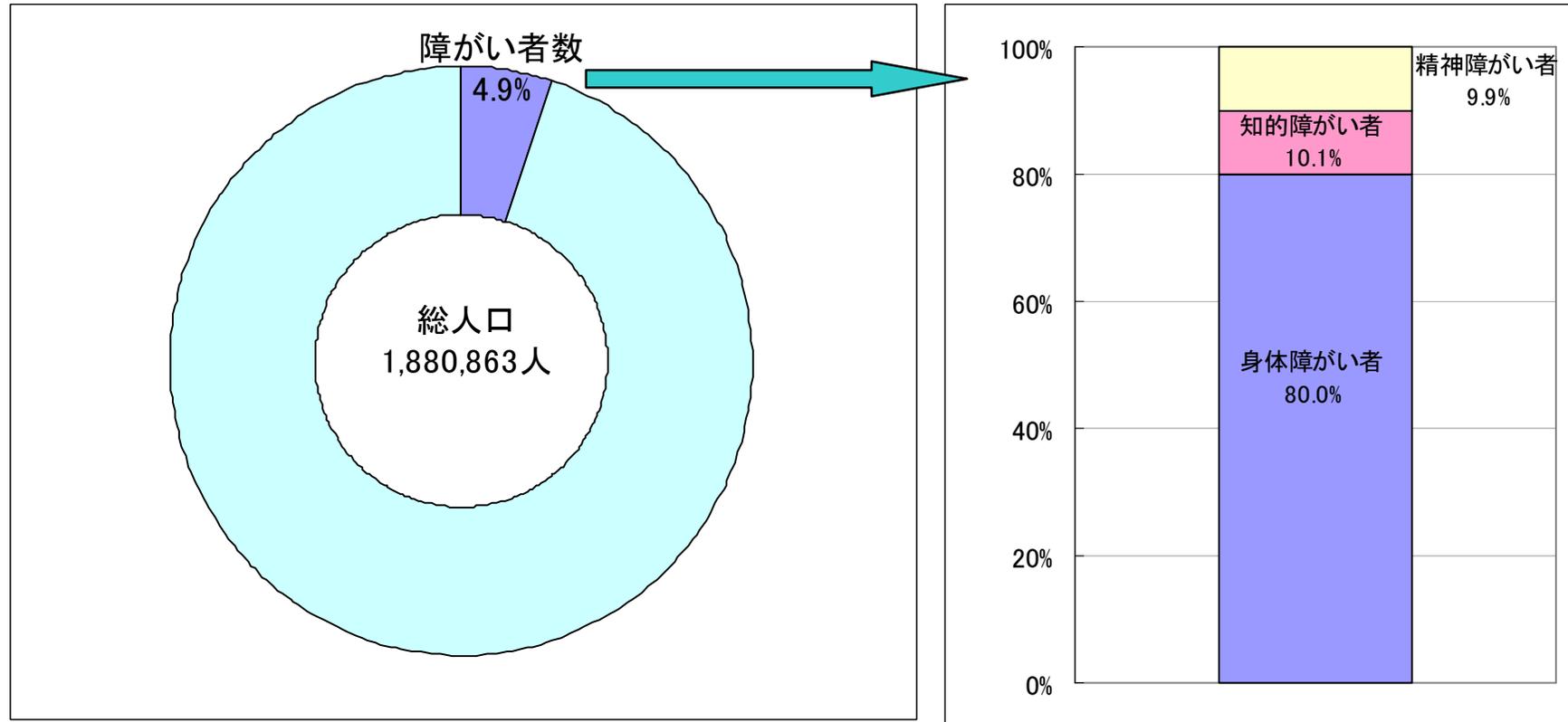
(4) 高齢者世帯の収入



出典：平成15年住宅・土地統計調査

- 65歳以上単身世帯、75歳以上単身世帯では「200万円未満」の割合が約6割
- 65歳以上夫婦世帯、高齢夫婦世帯、75歳以上夫婦世帯では「200万円未満」の割合が15～20%と低い一方で、「200～400万円」の割合が約6割
- 65歳以上の世帯員がいる世帯では「200万円未満」の世帯が25%

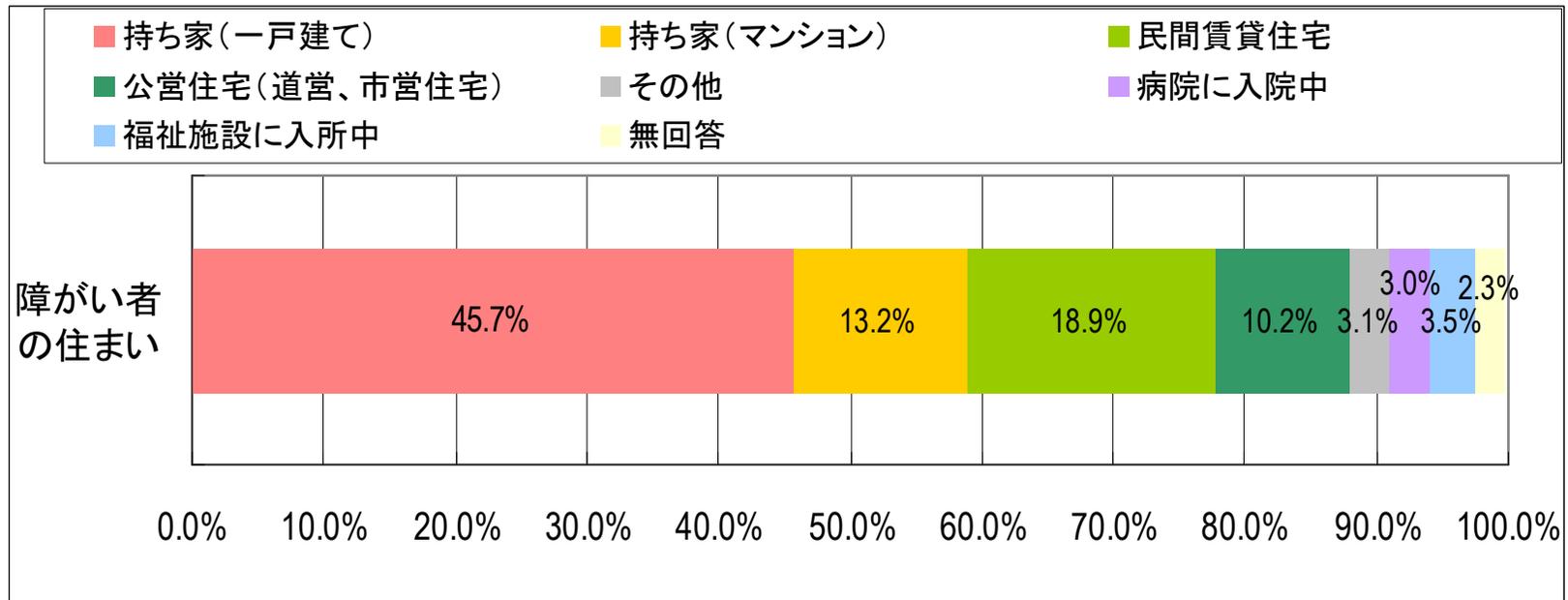
(5)障がい者数



出典:「札幌市統計書」平成18年版

- 障がい者数は合計で92,125人(うち身体障がい者73,659人、知的障がい者9,300人、精神障がい者9,166人)であり人口比では4.9%

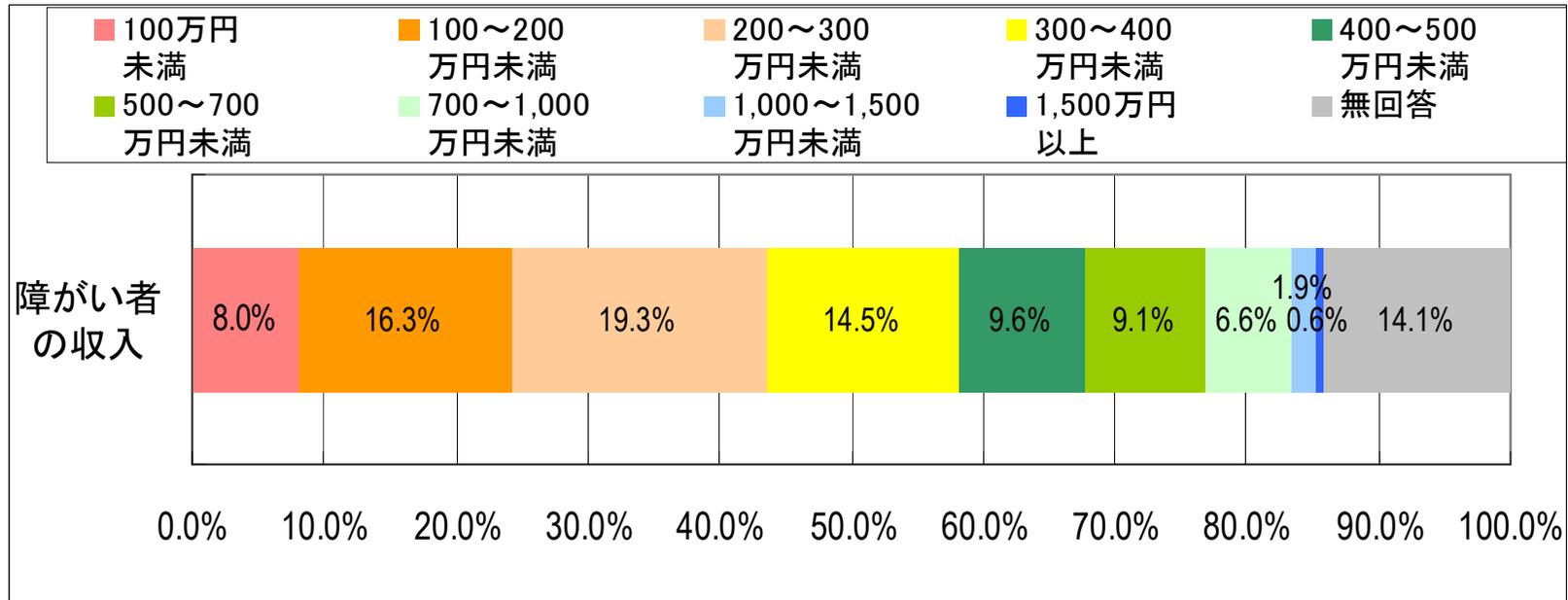
(6)障がい者の住宅種別



出典：札幌市保健福祉局「平成14年保健福祉に関するアンケート調査」

- 障がい者の住まいは、持ち家(一戸建て)が45.7%と最も多く、続いて民間賃貸住宅が18.9%となっている。
- その他、持ち家(マンション)と公営住宅が約1割程度みられる。

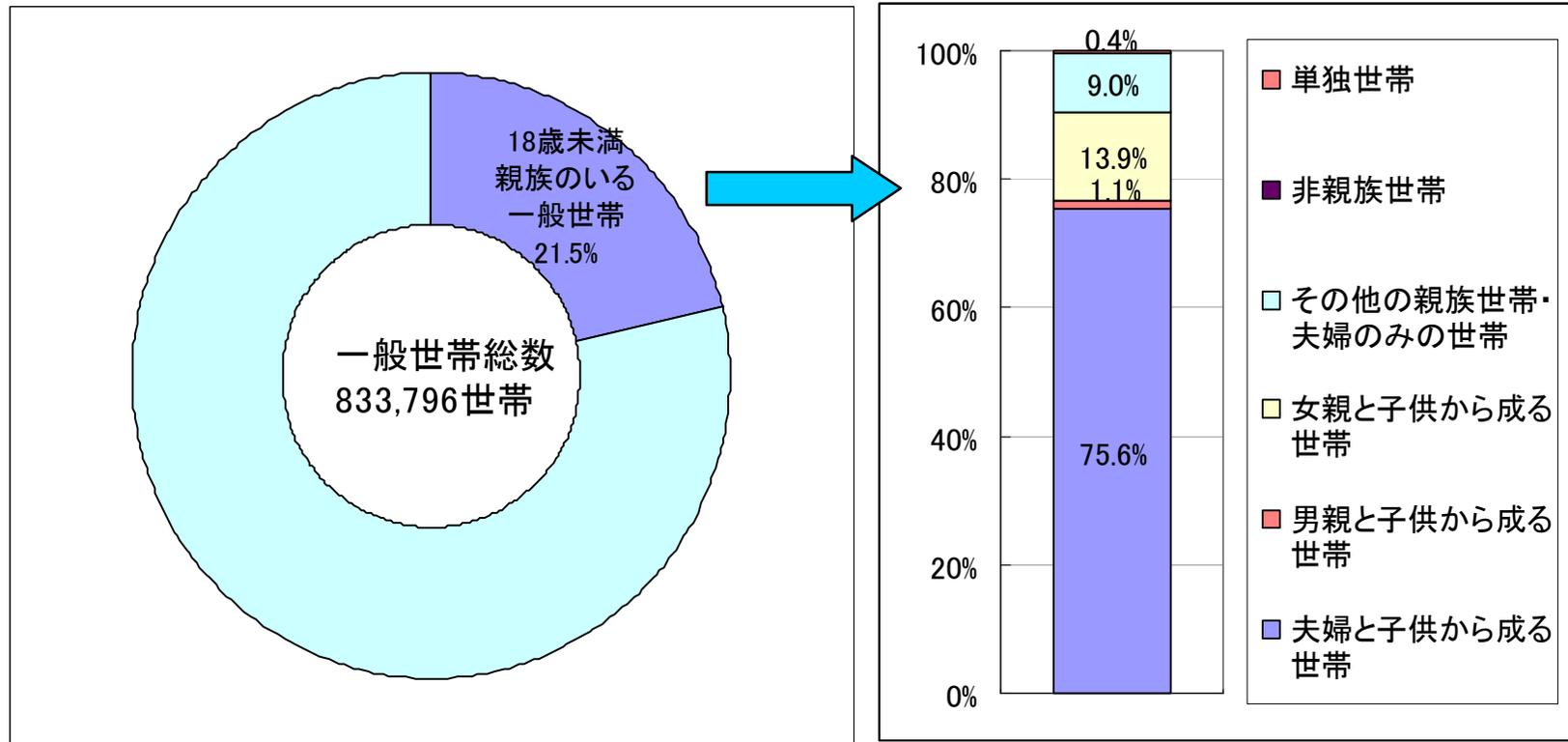
(7)障がい者の収入



出典: 札幌市保健福祉局「平成14年保健福祉に関するアンケート調査」

- 障がい者の年間収入は、400万円未満が半数以上を占めている。
- 最も多い年収額は、100～200万円、200～300万円となっている。
- 100万円未満の世帯も8%みられる。

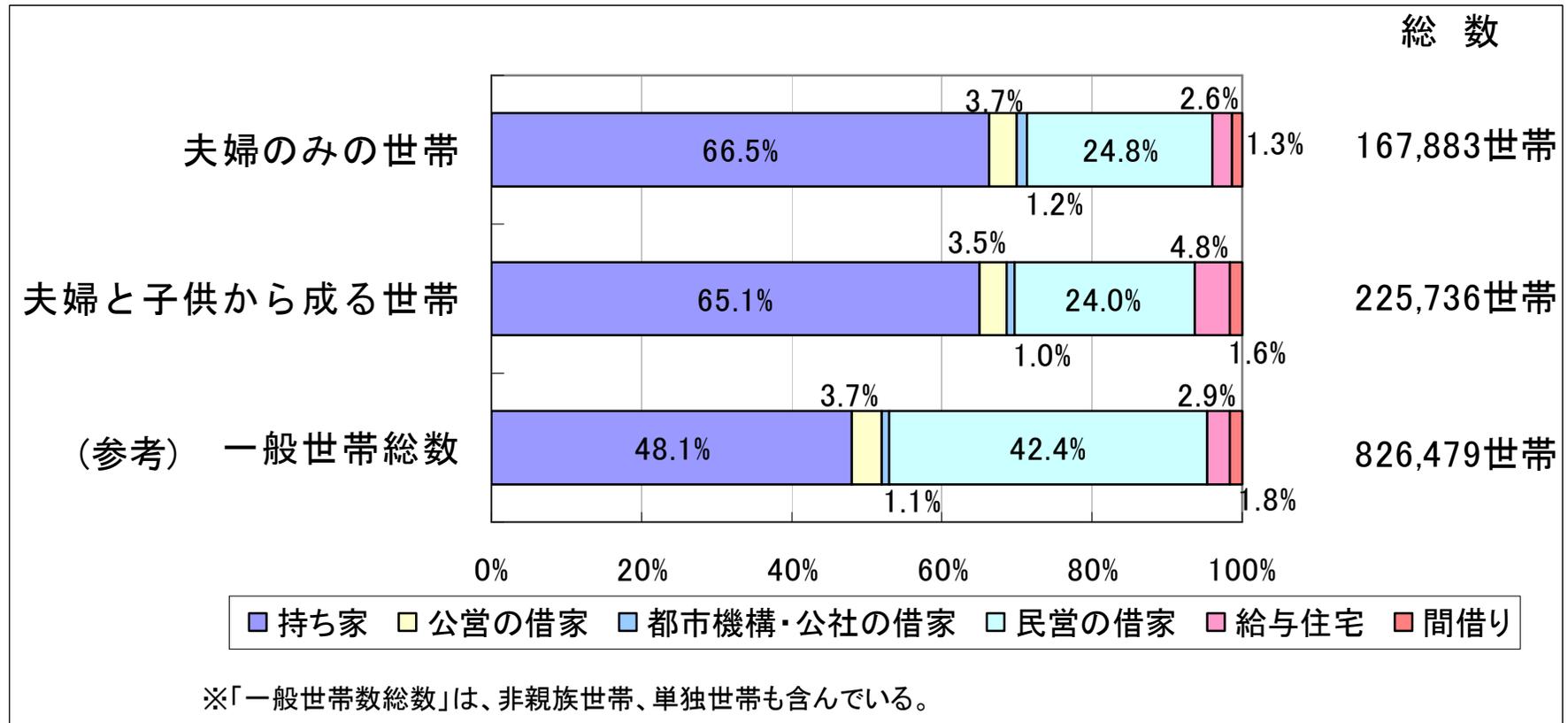
(8)子育て世帯の世帯数



出典：平成17年国勢調査

- 札幌市の一般世帯数(833,796世帯)のうち、18歳未満親族のいる一般世帯数は178,913世帯であり、札幌市の一般世帯総数の21.5%を占めている
- このうち、「夫婦と子供から成る世帯」は135,248世帯(75.6%)

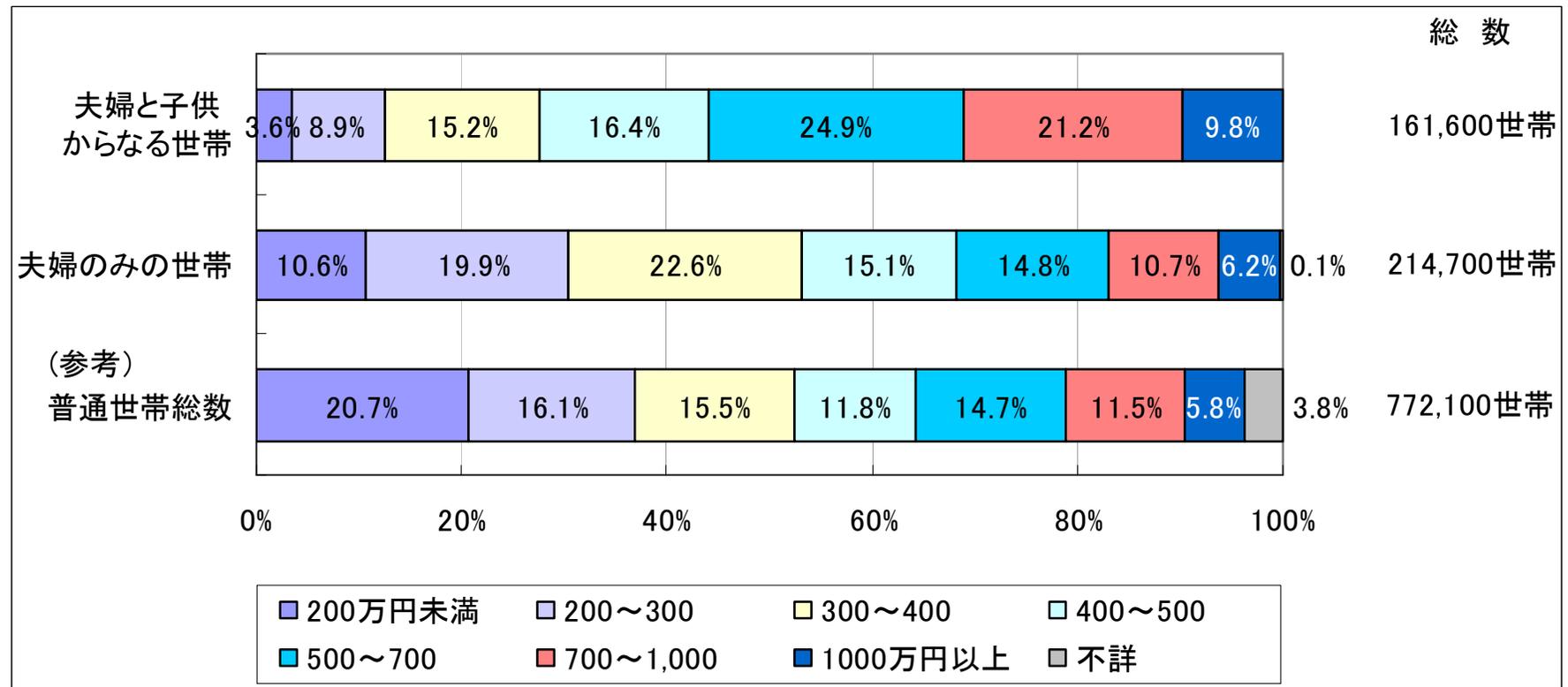
(9)子育て世帯の住宅種別



出典：平成17年国勢調査

- 「夫婦と子どもから成る世帯」の持ち家率は65.1%、民営の借家率は24.0%で、「夫婦のみの世帯」と同等の割合

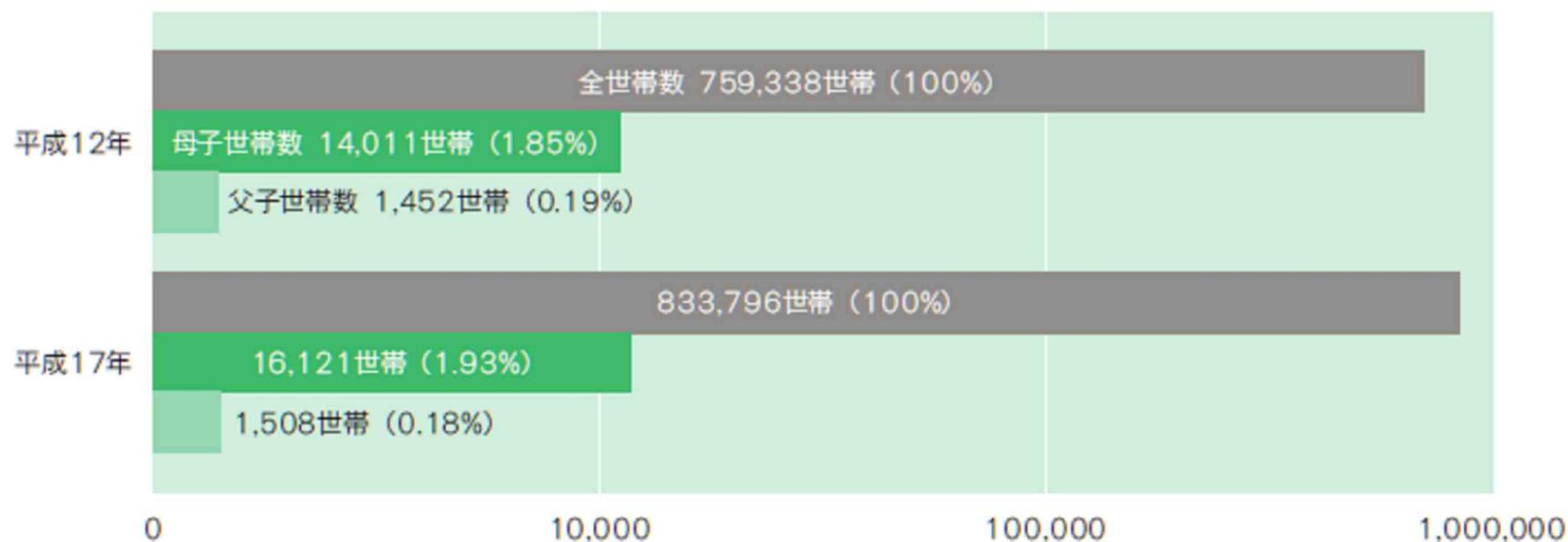
(10)子育て世帯の収入



出典：平成15年住宅・土地統計調査

- 年収400万円未満の低額所得世帯は、夫婦のみの世帯、普通世帯総数では5割程度であるのに対し、夫婦と子供からなる世帯では3割程度

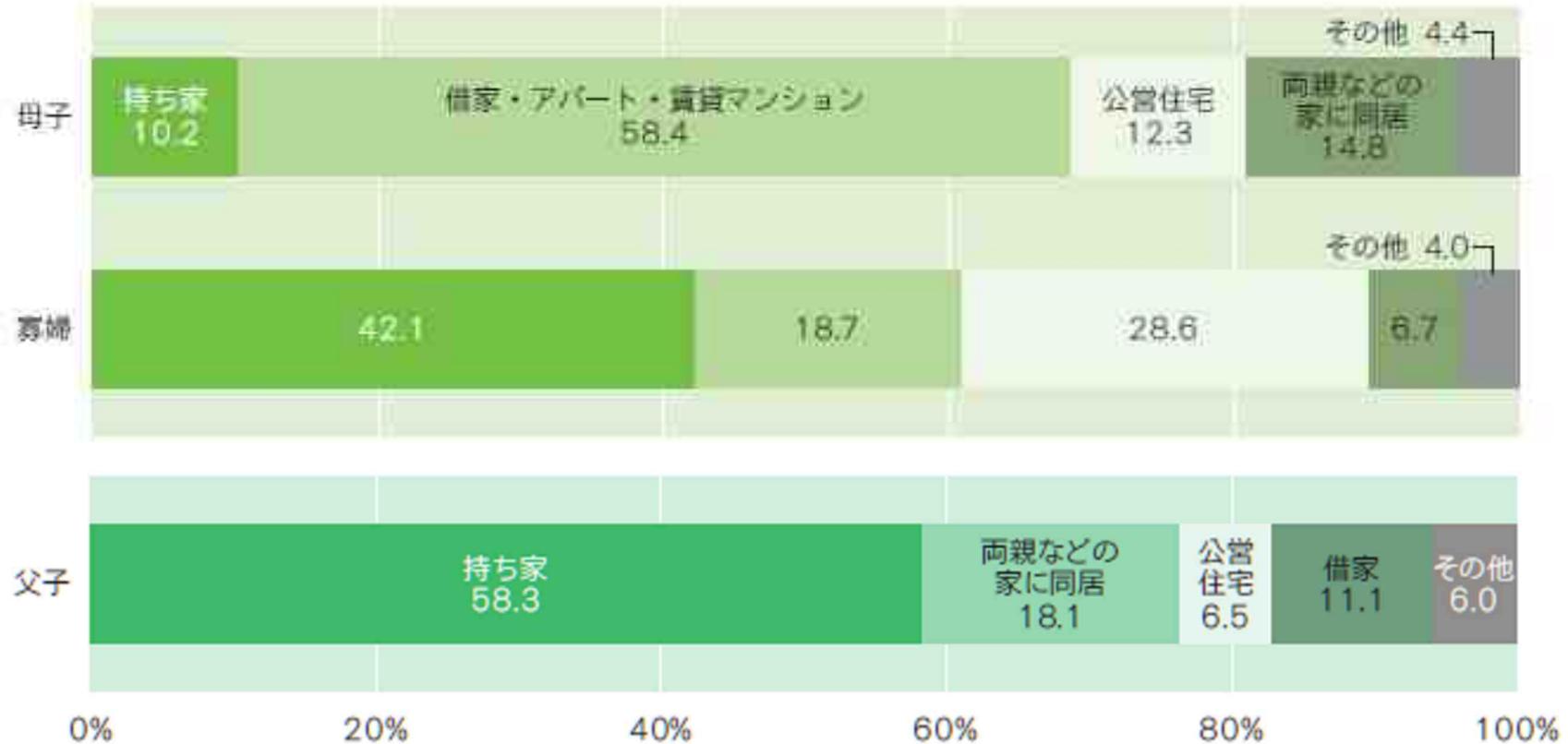
(11)ひとり親世帯の世帯数(H12・H17年)



出典:札幌市母子家庭等自立促進計画(平成20年度~平成24年度)

- 札幌市の全世帯数(833,796世帯)のうち、ひとり親の世帯数は17,629世帯であり、札幌市の一般世帯総数の2.1%を占めている
- このうち、「母子世帯」は16,121世帯でひとり親世帯の約9割を占め、その他「父子世帯」は1,508世帯となっている

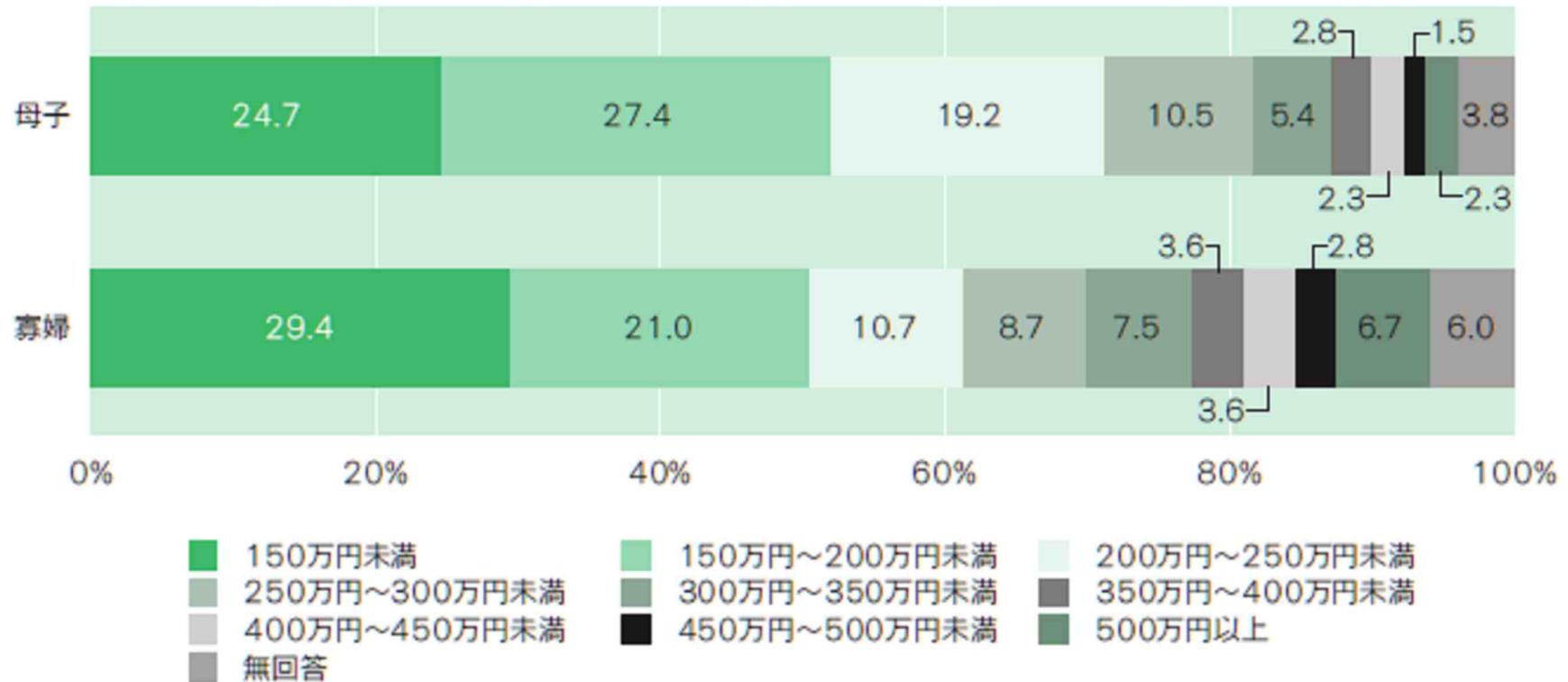
(12)ひとり親世帯の住宅種別(H19年)



出典：札幌市母子家庭等自立促進計画(平成20年度～平成24年度)

- 母子家庭は民間の借家が約6割と最も多く、続いて両親との同居が14.8%、公営住宅が12.3%となっている。
- 父子家庭では、持ち家が約6割と最も多く、続いて両親との同居が18.1%、借家が11.1%となっている

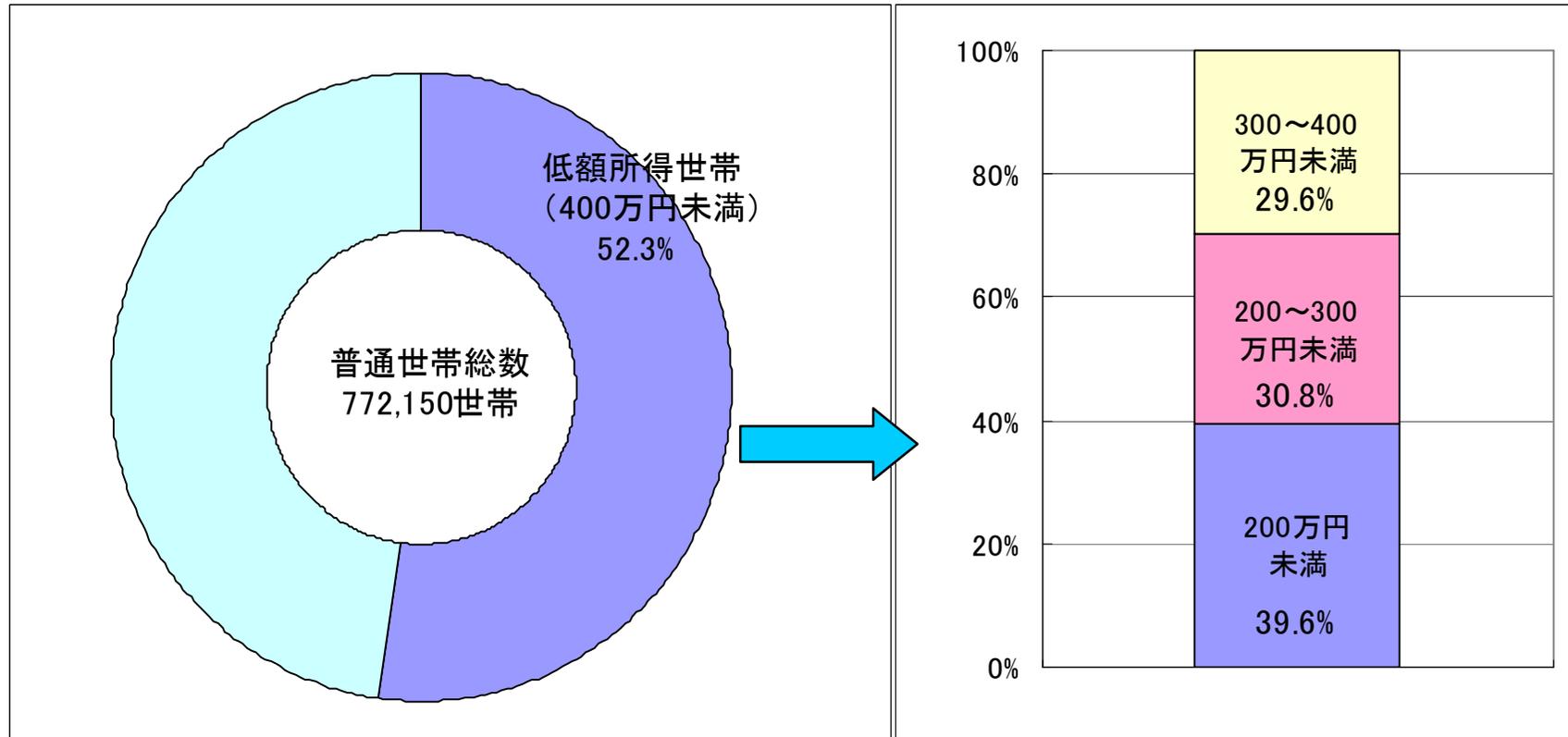
(13)ひとり親世帯の収入(H19年)



出典:札幌市母子家庭等自立促進計画(平成20年度~平成24年度)

- 母子家庭では、年収400万円未満の低額所得世帯が約9割を占めている。
- さらに、年収200万円未満の低額所得世帯が約半数となっており、150~200万円未満の世帯の割合が約3割と比較的多い

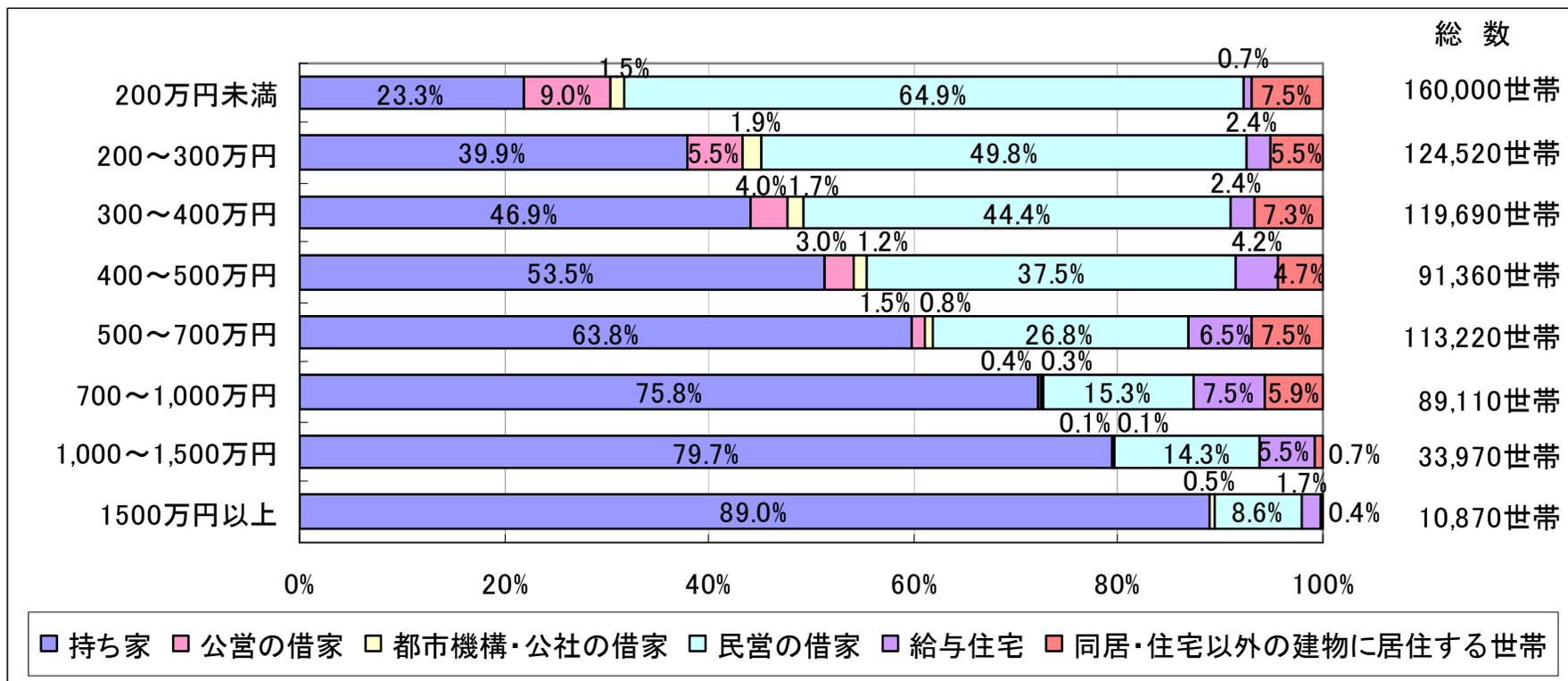
(14) 低所得者の世帯数



出典：平成15年住宅・土地統計調査

- 1年間の収入が「400万円未満」である低額所得世帯は404,210世帯(普通世帯総数の52.3%)
- そのうち、「200万円未満」の世帯は、160,000世帯(低額所得世帯の39.6%)

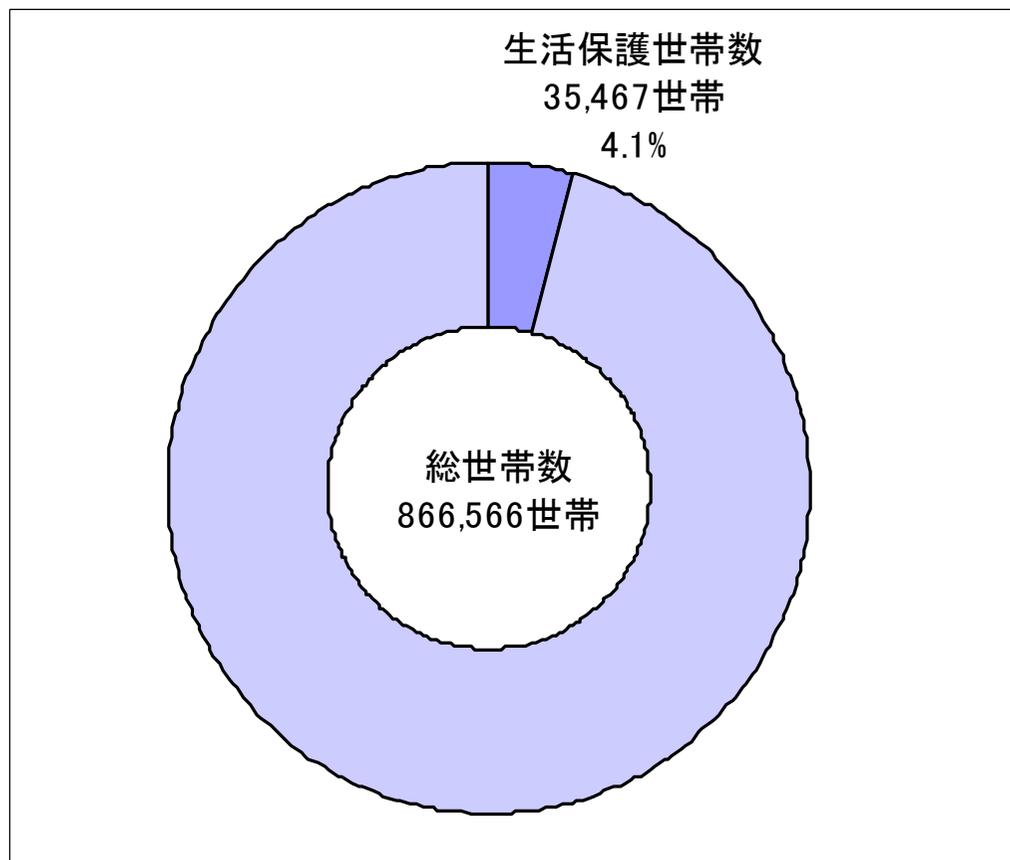
(15) 低所得者の住宅種別



出典：平成15年住宅・土地統計調査

●収入が低いほど持ち家率が低く、民営借家・公営借家率が高くなる傾向

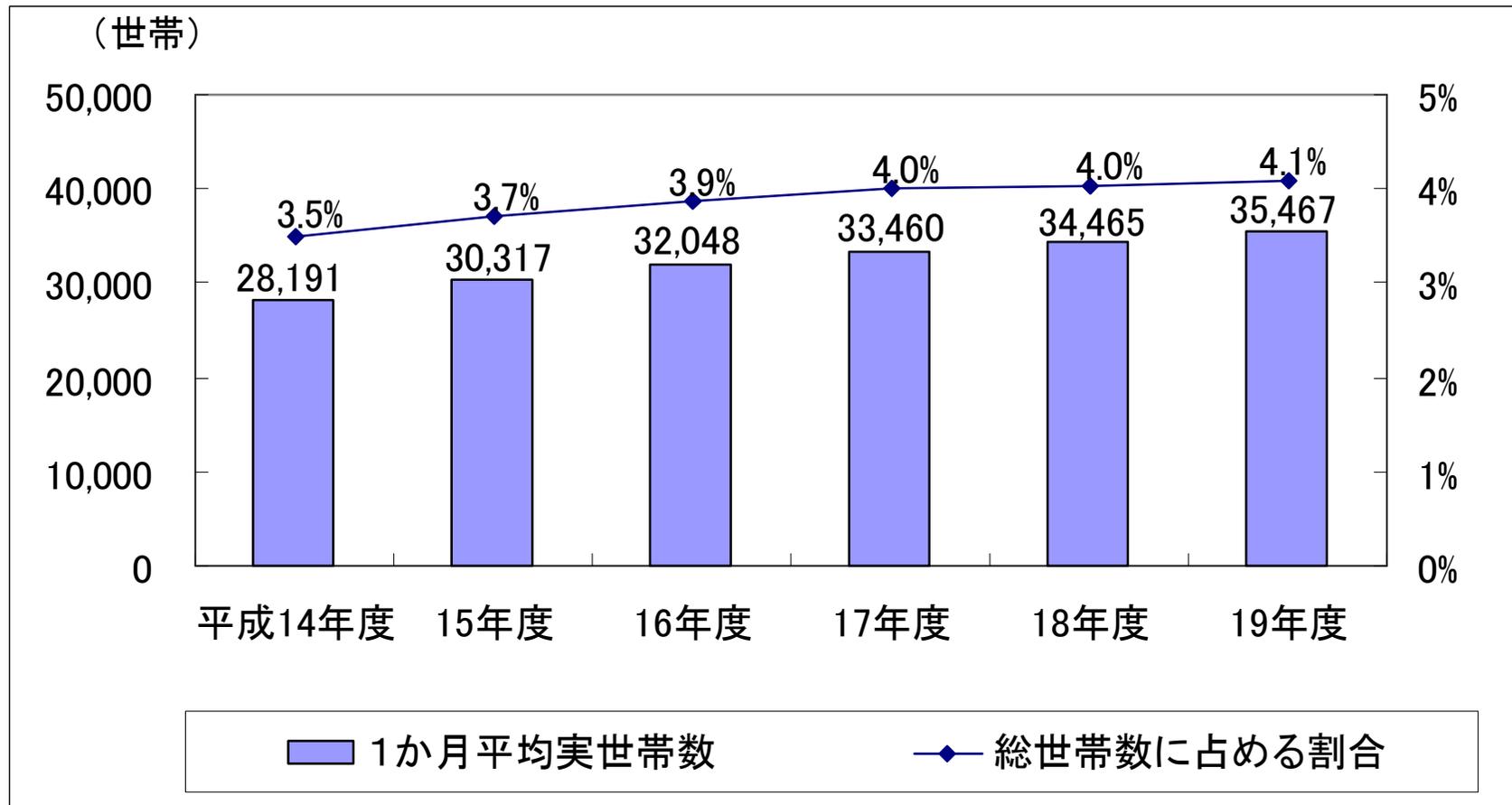
(16)生活保護世帯の割合



出典:「札幌市統計書」平成20年版

- 平成19年度の生活保護世帯数(1ヶ月平均)は、全体の35,467世帯となっており、全体の4.1%を占めている

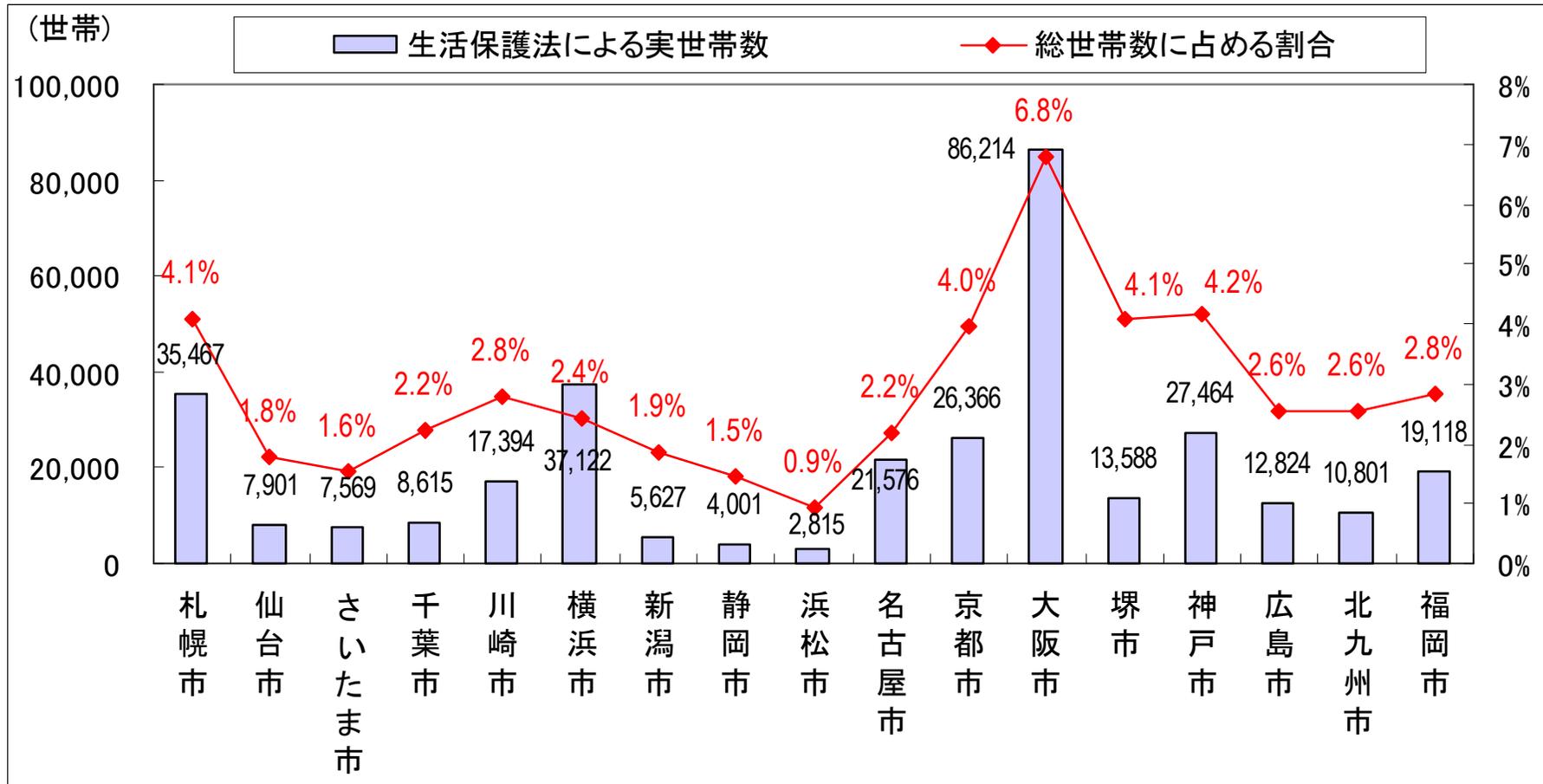
(17)生活保護世帯数と割合の推移



出典:「札幌市統計書」平成20年版

- 生活保護世帯数は増加傾向にあり、平成19年度では35,467世帯(4.1%)となっている

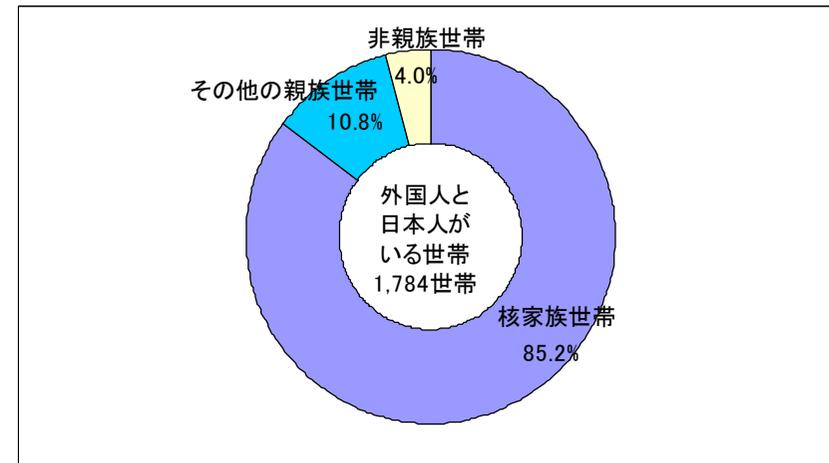
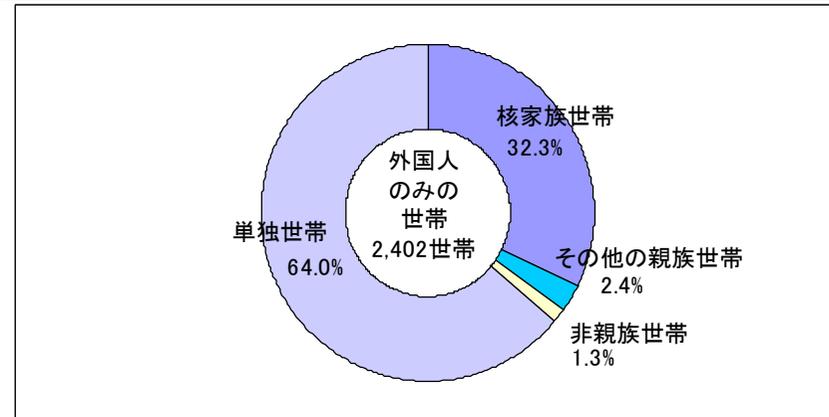
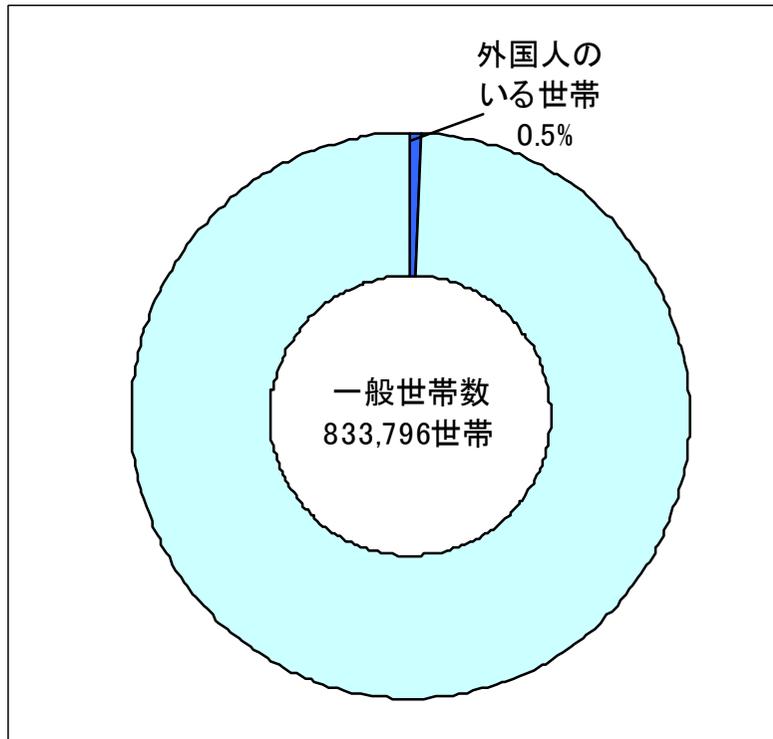
(18)生活保護世帯数と割合の政令市比較



出典:「大都市比較統計年表」平成19年

- 札幌市の実世帯数(35,467世帯)は大阪市、横浜市について3番目、総世帯数に占める割合(4.1%)は大阪市、神戸市について3番目となっている

(19)外国人の世帯数



出典:平成17年国勢調査

- 外国人のいる世帯は、4,186世帯(総世帯数の0.5%)
- 外国人のみ世帯は、「単独世帯」が1,537世帯(64.2%)と最も高く、ついで「核家族世帯」(775世帯、32.3%)
- 外国人と日本人がいる世帯は、「核家族世帯」が1,520世帯(85.2%)と最も高く、ついで「その他親族世帯」(193世帯、10.8%)